代表質問
清流会

# 病院経営の基盤・基本は

高橋（たかはし）　義雄（よしお）議員

**Q 病院事業経営の基盤、基本は。**

**A** 医師、看護師をいかに確保するかが病院経営のすべてと考えており、その点を努力して、検討委員会、評価委員会などの意見を聞いている。一応のめどが立ったら市民の皆様方と話し合っていきたい。

**Q 新市建設計画の進捗状況は。**

**A** 平成26年度までの10年間、84計画事業を総合計画前期基本計画などに引き継ぎ進捗管理を行っている。

**Q 行政組織の見直しは。**

**A** 本庁は広範な視点に立って政策の立案、調整、展開を図り、支所は証明書の交付、各種届出、手続、相談窓口など住民に身近な行政サービスを提供し、ワンストップサービスのための総合窓口機能を有し、市民の皆さんが歩かなくてもその場ですべて解決できる体制を想定している。

**Q 若者定住の効果をどのように検証しているのか。**

**A** 雇用の場の確保や居住環境、子育て支援などの施策を総合的に実施することで実現され、賃貸住宅や定住促進住宅の応募状況などを見ながら検討していく。

**Q 住民が道路補修維持など軽微な事業を実施できる方策の検討は。**

**A** 自治会や区長会などの意見を聞きながら、地域の合意形成を図り、総合支所も含め早急に検討を重ねていく。

信頼される病院経営に努めている栗原中央病院

代表質問
くりはら迫政会

# 創設を望む 不育治療費助成制度

阿部（あべ）　貞光（さだみつ）議員

**Q 不育症の検査や治療は、保険適応外のため多額の自己負担となるが、検査と治療によって85％の患者が出産にたどり着けるとされている。不育症に対する見解と治療費助成制度の創設を望む。**

**A** 全国的には、女性の2％から5％が不育症で悩んでおり、厚生労働省では、平成20年度から子ども家庭総合研究事業の一環として、不育症の研究班を立ち上げ専門医により検査法、治療法、心のケアなどを検討されている。今後、国の動向を踏まえ、少子化対策の一環として助成制度を検討する。

**Q ミニデイ事業は、介護予防意識普及のため自治会で開催すべきと考え伺う。**

**A** 介護予防としての「お茶っこ会」は、自治会などが地域の特色を生かし実施することが最も望ましい形だと考えており、今後も保健師や栄養士の派遣も含め開催支援を行う。

**Q トイレ水洗化促進助成制度のためのリフォーム工事費の補助制度の内容見直しの考えは。**

**A** 利子補給制度や排水設備補助制度は、供用開始の告示後3年以内の工事を対象としているが、平成23年度から年数制限を廃止することで利用しやすい制度にし、未接続世帯の実態把握に努め接続促進につながる方策を検討する。

幸せいっぱい

# 一　般　質　問

※震災対応のため個人質問は名前と項目のみの掲載としました。

| 発言順位 | 議員氏名 | 質問事項 |
|---|---|---|
| 1 | 佐藤久義 | 1 公共施設と学校、市営住宅建築に市内産木材の活用如何に<br>2 栗駒病院裏に避難場所掲示板がある。避難できる面積はあるか |
| 2 | 佐々木　脩 | 1 徳富橋の架け替えについて<br>2 地域の文化資料の保存について |
| 3 | 相馬勝義 | 1 ＴＰＰの今後の栗原市の対策について<br>2 農畜産物の輸出による農業再生について<br>3 農地の流動化の促進及び大規模営農に適さない地域での農業振興について |
| 4 | 濁沼一孝 | 1 生活道路の舗装について<br>2 一元化施設の建設と廃校活用について<br>3 除雪対策について |
| 5 | 大関健一 | 1 新たに障害者区分認定となった「発達障害」「高次脳障害」など障害者がいきいきとした生活をおくれるには |
| 6 | 沼倉　猛 | 1 行政改革による市民生活への影響について<br>2 特別養護老人ホーム増床について |
| 7 | 高橋勝男 | 1 市税の収納対策について<br>2 少子化対策について<br>3 市民への情報提供のあり方について |
| 8 | 佐藤　優 | 1 若柳地区幼稚園の再編と民営化について |
| 9 | 三浦善浩 | 1 「いのちを守る」政治について |
| 10 | 菅原勇喜 | 1 国保について<br>2 小規模工事登録制度について<br>3 地域商工会の要望、対応策について |
| 11 | 大瀧信子 | 1 がん検診受診率・予防接種率向上とその他疾患への対策は<br>2 行政改革に伴う保健師・栄養士の配置態勢は十分か<br>3 身体障害者用自動車改造費助成事業　内容を見直しすべき |
| 12 | 佐藤文男 | 1 公契約条例の制定を |
| 13 | 富塚正夫 | 1 下水道事業等整備計画と財政について<br>2 市における水道事業（上水道・簡易水道）について |
| 14 | 三塚　東 | 1 観光の戦略推進事業について<br>2 ６次産業の戦略構想について |
| 15 | 石川正運 | 1 市が目指す商店街活性化策と商業振興策は<br>2 市内４商工会に対する市の現状認識は<br>3 河川管理状況は万全か |
| 16 | 佐々木嘉郎 | 1 栗原丸の運航について |

くりはら市議会だより
発行：栗原市議会
編集：栗原市議会広報編集調査特別委員会
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
栗原市ホームページアドレス http://www.kuriharacity.jp
Tel(0228)22-1170 Fax(0228)22-0314
栗原市議会Eメール gikai@kuriharacity.jp

# 私もひとこと

## 生活基盤の安定は一次産業から

佐々木由美（ささきゆみ）さん
（鶯　沢）

このたびの「東日本大震災」で被災された皆様方に心からお見舞い申し上げますとともに、全国はもとより世界各国から災害支援に当たっている方々に心から感謝いたします。今から3年前、栗原市は「岩手・宮城内陸地震」に見舞われ全国各地から支援をいただき、その教訓を生かして迅速に対応したことと思います。

度重なる大地震と頻繁に発生する余震の影響は停電、断水、燃料不足と今までの私たちの生活がいかに恵まれていたのかと、改めて考えさせられます。今回の地震は、ともに助け合い、寄り添い、地球に優しい人間であれという警鐘なのでしょうか。「自分さえ良ければ」という考えを改め、人材派遣などを見直し、栗原の基幹産業である第一次産業が生活基盤の安定につながる政策を実行するなら、若い人たちは安心して地元で働けるはずです。そんな栗原を強く望みます。

## 真の復興に向けて

去る3月11日に発生しました「東日本大震災」により被災されました皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。このたびの震災は津波による多数の犠牲者を出すとともに、福島第一原子力発電所の放射能漏れの問題は今後に大きな問題を残してしまいました。これまでの危機管理の基準・方法を含め「システムを根底から見直す」必要があります。

もう一方の深刻な問題として、生活を支えるための「雇用の問題」があります。各産業の基幹部分が倒壊し再起に時間が掛かり、産業構造の変化も待ち受けています。

今まさに政治と行政の主導が必要な時です。一刻も早い復旧、そして今後を展望した真の復興に向け市民一丸となった取り組みが必要です。議員の皆様にはさらに市民の声に耳を傾け、それをアイデアにし、行政と掛け合う姿を活発にしていただくことを要望します。

相馬（そうま）　信幸（のぶゆき）さん
（金　成）

## あとがき

3月11日の東日本大震災と4月7日の余震により被災された市民の皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の震災で、「岩手・宮城内陸地震」の被害を受け修理した議場の天井や側壁が前回よりさらに大きく落下しました。あと1日議会が伸びていたら市長をはじめ市の職員や議員にも多数のけが人が出ていたのでは、と今は胸を撫で下ろしているところです。

震災の影響により議会だより第26号の発行が大幅に遅れ、紙不足でページ数にも制限がありましたが、全力で発行にこぎつけました。

最後に、沿岸部では多くの方が尊い命を失い、家や財産、仕事までを無くされましたが、「岩手・宮城内陸地震」の経験を生かして、助け合い、励まし合い、また復興に向けて頑張りましょう。

瀬戸健治郎

**議会広報編集調査特別委員会**

委員長　瀬戸健治郎
副委員長　千葉健司
委員　大瀧信子
委員　阿部貞光
委員　三塚東
委員　佐藤文男
委員　大関健一
委員　富塚正夫
議長　小岩孝一